

# 新 臨床研修歯科医 ハンドブック

Essential Handbook for Dental Residents

●監修

廣藤 卓雄 (福岡歯科大学名誉教授)

栗野 秀慈 (九州歯科大学教授)

米田 雅裕 (福岡歯科大学教授)

令和

4

年度

診療報酬改定対応版

Web動画付



# 1-2 歯科医師のマナー

## ■ 目 標

- ・ 歯科医師としてふさわしい礼儀と謙虚な態度を身につける。

### Point

- ・ 服装は歯科医師としてふさわしい清潔で働きやすい身なりに整えておく。
- ・ 挨拶は初対面の患者と人間関係を築くうえで重要である。
- ・ 言葉づかいは丁寧を旨とし、患者に理解できる用語で、やさしく思いやりをもって語りかける。
- ・ 約束・時間を守ることは信頼関係を得るうえで必須である。
- ・ 診療上知り得た秘密を厳守する。

## ■ 身だしなみおよび態度

われわれは、言葉を用いて相手に自分の意思を伝えているが、言葉以外からも多くの情報が相手に伝わっていることを認識しておく必要がある。患者は、歯科医師と対面したときに、まず外見（表情、服装、身だしなみ、姿勢、態度など）でどのような人物なのかを判断する。最初のイメージは、心理的に強い影響を与えるので、誤解されないよう、身なりや態度には注意する。

服装、身だしなみおよび態度、行為については、最低でも以下の注意事項を守る。

### 1 服装、身だしなみ

#### 1) 遵守事項

- ① 職務従事中は被服貸与規定に基づき貸与された被服、またはそれに準じた診療衣を着用する。
- ② 規定のネームプレートを着用する。
- ③ 白衣のボタンはきちんと留めておく。

#### 2) 禁止事項

- ① 不潔感、不快感を与える服装はしない。
- ② 診察時に支障をきたすアクセサリやにおいの強い化粧品を身につけない。
- ③ 以下の履物、履き方をしない。
  - a. 革靴、ハイヒール、下駄など歩行音の大きな履物
  - b. 滑る、転ぶなどの危険性の高い履物
  - c. 派手な色、デザインの履物
  - d. 靴のかかとをつぶして履く。
- ④ 病院外で白衣を着用しない（例外：病院外での医療行為やほかの施設などへの移動時）。

#### 3) 注意事項

- ① 白衣はいつも清潔にし、汚れ、しわに気をつける。
- ② 診療衣から透けてみえるような派手な柄や色の衣類を身につけない。
- ③ 髪型、髪色、髪飾りを派手にしない。
- ④ 汗臭さ、口臭、たばこのにおいに注意する。
- ⑤ 不快感を与えない化粧を心がける。

## 2-3 診療録（カルテ）の書き方

### ■ 目 標

- ・ 診療記録として正確に書くことができる。
- ・ 診療情報を第三者にわかるように書くことができる。

#### Point

- ・ 診療行為の記録として書く。
- ・ 保険請求などの原本として書く。
- ・ 情報提供をふまえて書く。
- ・ カルテ開示などに備え、自分を守るために書く。

### ■ 診療録（カルテ）とは

#### 1 診療行為の記録として

主訴・症状・所見・診断・治療などを記録することは、治療計画立案、次回治療または経過観察、患者管理などに必要である。

POS (problem-oriented system) や POMR (problem-oriented medical record) の考え方が一般的で、その書き方の主体が SOAP (subjective objective assesment plan) を満たした記載方法である。

#### 2 保険請求などの原本として

カルテに書かれた内容のなかから保険診療として算定できるものを請求する。保険請求につながるもののみを書くことや、行った行為を書かないことは診療行為自体に疑義をもたれかねない。

#### 3 情報提供をふまえて

診断、処置選択の根拠や治療方針変更の場合には理由を書いておく。特に通常と異なる状況を患者に説明した場合は記録に残しておく。

#### 4 カルテ開示などに備え、自分を守るために書く

医事紛争などでは、診療録が「証書」として最も重要な資料となる。

### ■ 診療録（カルテ）の書き方

- 1) 鉛筆書きや欄外記載は行わない。患者説明に使用したメモなどは保存しておく。
- 2) 診療を行った場合は遅滞なく、当該診療にかかわる必要事項を画一的にならないように書く。
- 3) 他人にも判読できるように書く。殴り書きや自己流の略称は認められない。
- 4) 診療行為を行った順に術式、使用材料などの内容を個別具体的に書く。
- 5) 訂正を行う場合は、修正液などを使わず = (二重線) で訂正する。
- 6) 歯科医師が複数の場合は、責任の所在を明確にするため担当歯科医師が押印またはサインをする。
- 7) 電子カルテは、真正性、見読性、保存性の要件を満たすことが必要である。
- 8) 上記を満たさないパソコンによる診療録では、印刷後保険医の署名または記名押印を行う。

## 5-11 根尖性歯周炎の検査・診断

### ■ 目 標

- ・ 正確な検査を行う。
- ・ 検査結果より患歯を特定し、適切な診断、治療方針の決定ができる。

### Point

- ・ 患者から種々の情報を収集する。
- ・ 多くの情報を総合して処置方針まで導き出す。

### ■ 検査方法

- ・ 根尖性歯周炎は歯髄死に引き続き起こるので、根尖性歯周炎と診断するためには患歯が失活歯であることを確認する必要がある。
- ・ 多くの検査からの情報を得る必要があるが、根尖性歯周炎の診断をするうえで有効となる点を下記に示す。

1 問診：自発痛の有無

2 視診：辺縁および根尖相当部歯肉の発赤・腫脹・瘻孔の有無（図1）

3 触診：辺縁および根尖相当部歯肉の腫脹・圧痛の有無

4 打診：水平および垂直打診による疼痛の有無

必ず対照歯（健常歯）を設けてその反応と比較する。

5 歯周ポケット検査：歯周ポケットの有無

歯内-歯周病変や歯根破折の診断の指標になる。

6 歯の動揺度測定：歯根膜破壊の程度の確認

急性症状を有するときは一時的に大きな動揺度を示すことがあるが、炎症の消退とともに改善する。

7 エックス線検査：根尖部透過像の有無

瘻孔がある場合は、瘻孔よりガッタパーチャポイントを挿入し、感染源を確認する（図2）。



図1 下顎左側臼歯部歯肉の瘻孔



図2 下顎左側臼歯部歯肉の瘻孔から挿入したガッタパーチャポイントが根尖部に到達するエックス線像

## 8-6 グラスアイオノマーセメント修復

### ■ 目 標

- ・う蝕に対してグラスアイオノマーセメント修復ができる。

#### Point

- ・コンポジットレジンとの使い分けができるように適応症を理解する。
- ・感染象牙質は除去する。
- ・審美的な仕上がりが重要となるので、色の選択は慎重に行う。
- ・グラスアイオノマーセメントを過不足なく充填し、白濁や辺縁漏洩のない修復物とする。
- ・グラスアイオノマーセメントは生体親和性と歯質接着性が高く、フッ化物徐放性があるため、う蝕予防効果ならびに再石灰化が期待できる。

### ■ 目 的

- ・う蝕をグラスアイオノマーセメントで審美的に修復する。

### ■ 適応症

- 1) 根面う蝕
- 2) くさび状欠損
- 3) 舌側に位置する3級窩洞
- 4) 唇側エナメル質を広く覆わない5級窩洞
- 5) 小窩裂溝の予防充填
- 6) 乳歯の修復
- 7) 初期の咬合面裂溝う蝕
- 8) 臼歯隣接面のトンネル修復

### ■ 用意するもの

- 1) 麻酔（う蝕予防的処置の場合、麻酔を必要とすることはまれである）
- 2) 切削器具〔高速切削：カーバイドバー（洋梨状330）、ホワイトポイント 低速切削：歯面研磨用ブラシ、ラウンドバー1・2・3、研磨用シリコンポイント 手用切削器具：スプーンエキスカベータ〕
- 3) シェードガイド
- 4) 修復用グラスアイオノマーセメント材料
- 5) デンティンコンディショナー

### ■ 処置の流れ

①歯面研磨→②色合わせ（使用するグラスアイオノマーセメントの色をみる）→③感染象牙質の除去→④デンティンコンディショナー、グラスアイオノマーセメントの充填→⑤表面をココアバターなどで防湿→⑥仕上げ→⑦研磨



図1 術前



図2, 3 感染象牙質, 着色象牙質の除去



図4 仕上げ



図5 修復完了

## ■ 注意事項

- 1) 適応症を間違えない。歯肉縁下の窩洞や広範囲な5級窩洞、外力の加わる場所の修復には向かない。
- 2) 感水に注意する。
- 3) 乾燥による亀裂にも注意する。そのため研磨は注水下で行う。
- 4) 窩縁はバットジョイントにし、薄くならないように気をつける。
- 5) 仕上げ研磨は1日後にしたほうがよい。

## ■ カルテへの記載

病名: 1] C<sub>2</sub>

4/2	1]	充形 (KP)	128
		デンティンコンディショナー (歯面処理)	—
		光ガラスアイオノマー (B)	106+8
		研磨	—

う蝕歯即時充填形成 (充形)	128 点		
充填技術料 (1 歯につき)	充填 1 (歯面処理を行う場合)	充填 2 (充填 1 以外)	
単純なもの	106 点	59 点	
複雑なもの (隣接面を含む)	158 点	107 点	
充填用材料		単純なもの	複雑なもの
光重合型充填用レジン強化ガラスアイオノマーセメント (標準型)		8 点	22 点
光重合型充填用レジン強化ガラスアイオノマーセメント (自動練和型)		9 点	23 点
ガラスアイオノマーセメント (標準型)		3 点	8 点
ガラスアイオノマーセメント (自動練和型)		6 点	17 点
			〈山田和彦〉

